

第541回番組審議会報告

開催日 : 令和7年10月21日(火)

場所 : 山形グランドホテル

出席委員 : 柳谷豊彦 委員長／相馬佳苗 副委員長／中川愛美 委員／堀内史子 委員／齋藤義紀 委員／黒川和久 委員

リポート参加 : 中村出 委員／佐藤善哉 委員

議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率関連 後藤 取締役編成業務局長兼番組審議会事務局長

2. 報道・制作関連 黒須 取締役メディア情報局長

3. 番組合評

◇ 山形いちまる「やまがた百景 いきものたちの楽園」

令和7年9月3日 午後7時～7時54分放送

担当 : メディア情報センター コンテンツ担当部長 寒河江 徹

◎その他

内容 : タレント石田靖さんが山形県の秘境や絶景をめぐりながら地元の人と交流を重ねる情報・教養バラエティです。

今回は月山、朝日連峰の麓、西川町大井沢が舞台。日本の固有種で国の天然記念物にも指定されている「ニホンヤマネ」の生態調査に密着したほか、大井沢に生息する野生動物の数々に触れ、いきものたちの楽園を堪能しました。また大井沢の資源や景観に魅了され自らの作品作りに励む職人たちの姿に迫りました。

委員からは、

「大井沢に行ってみたいと思わせるクオリティーの高い番組。バランスがとれた構成だった」

「登場人物が幅広く、性別の割合も適切だった。どうしても年配の人に取材対象が偏りがちだが、若い人や女性も登場し、全体に明るい印象があった」

「ヤマネの調査や生態についてとても理解が深まった」

「ヤマネが見つけられた時の眠そうな表情に、こんなに油断していていいんだと驚いた」

「もっとヒューマンヒストリーに迫ってもよかったです。人の物語に迫ることでより印象に残る番組にもなったのではないか」

「石田靖さんの親しみやすいキャラクターが、番組全体に安定感と安心感を与えていた」

「タイトルと内容の乖離が気になった。自然生物に特化した番組だと思って視聴したが、実際には大井沢の自然、歴史、文化などを幅広く取り上げた番組であり、自然生物系ドキュメンタリーを期待した視聴者にとっては、肩透かしに終わったかもしれない」

などの意見が出されました。

以上